

ゲートの維持工事を行っています

作成者：緒方



現在、コースターゲートの「水密ゴム」を取替える工事を行っています。

「コースターゲート」とは、オリフィスゲート(ダムから水を流す時に動くゲート)を点検するときに、ダム湖に貯まっている水が流れないように上流側で水をせき止めるためのゲートです。

そのため、ゲートが閉まった時に水が漏れないように「水密ゴム」という部品が使われており、安心して点検できるというわけです。

この部品は古くなると、次第に水が漏れるようになります。そのため、ひどい水漏れが起こる前に取替えをおこなっています。

1. 古い水密ゴムを取り外す



2. 工場にて新しい水密ゴムに取り付け用の穴を空ける



3. 新しい水密ゴムをゲートに取り付けて完了

